



私のいちおし本 「ぼぎわんが、来る」

澤村 伊智 著

選者：赤木 稔幸（高佑保育園）



第22回日本ホラー小説大賞を受賞し実写映画にもなった作品。
“あれ”が来たら絶対に答えたり入れたりしてはいけない、と幼い頃祖父から教わった田原秀樹。幸せな結婚生活を送る彼のもとに、突如として押し寄せる“あれ”の影。周囲で起こる原因不明の怪奇現象や不気味な電話の正体とは。愛する家族を守るために謎の怪異に対抗する秀樹だが、一方で娘の知紗の様子がどんどんおかしくなってしまう。果たして秀樹は謎の怪異を退けることができるのか。ホラー小説なのに子育てとは、良い親とは疑問を投げかけてくる作品です。子育てに奮闘するパパママ世代に是非読んでほしい一冊です。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

歳をとった親とうまく話せる 言いかえノート

萩原 礼紀 著

免許返納や認知症の検査、デイケアサービスの提案、相続の相談など、年老いた親の自尊心を傷つけず上手にコミュニケーションを取るための言いかえを、○×形式で紹介する。「会話パターン」25選も収録。



【児童】

パンどろぼうとりんごかめん

柴田 ケイコ 作

パンを届けにきたコッコ農園が、何者かに荒らされていることを知ったパンどろぼう。見回りに出かけ、犯人のいのしし兄弟を見つけるが、食べられそうになってしまう。そこに登場したのは…。「パンどろぼう」シリーズ第6弾。



【銀河アリーナ図書室からのお知らせ】

◎クリスマスおはなし会◎「花☆はなの森」ご案内

・期日 12月14日(土)

・時間 13時30分～

絵本の読み聞かせや、かわいい「かくれんぼシート」の作業を行います!

参加は無料で、小さいお子さまから、大人の方まで楽しめる内容となっております。お気軽にお越しください♪



【文化センター図書室】

【一般】

迷惑な終活

内館 牧子 著

年金暮らしの原夫妻。“生きているうちに死の準備はしない”主義の夫・英太が、あるきっかけから終活をしようと思いつく。周囲にあきれられながらも高校時代の純愛の相手に会うため動き始めるが、思わぬ事態を引き起こしー。



【児童】

動物の義足やさん

沢田 俊子 文

動物たちの力になりたい! たった一人で始めた動物たちの装具作り。獣医師にアドバイスをもらいながら何度も作り直して、ついに専門家になり…。3万匹分の装具を作ってきた島田旭緒さんの活動を紹介します。



【文化センター図書室からのお知らせ】

チューリップの会主催 冬のおはなし会

肝付町文化センターにて、チューリップの会主催 冬のおはなし会を開催します。

事前申し込み等は必要ありません。当日参加 OK。楽しいおはなしをご用意しております。どうぞご参加ください。

【日時】令和6年12月7日(土) 午前10:00～

【場所】肝付町文化センター 2階会議室